

## ★シロイチモジヨトウ情報

ネギ等の野菜類、豆類及び花き類を加害するシロイチモジヨトウのネギでの被害、フェロモントラップへの誘殺数が急増しています。

### 1. 発生状況

#### (1) ネギでの発生状況

10月中旬に実施した巡回調査におけるネギ大株での発生量は、幼虫数及び被害発生ほ場率では例年比高く、寄生株率及び発生ほ場率では例年比やや高くなっています。

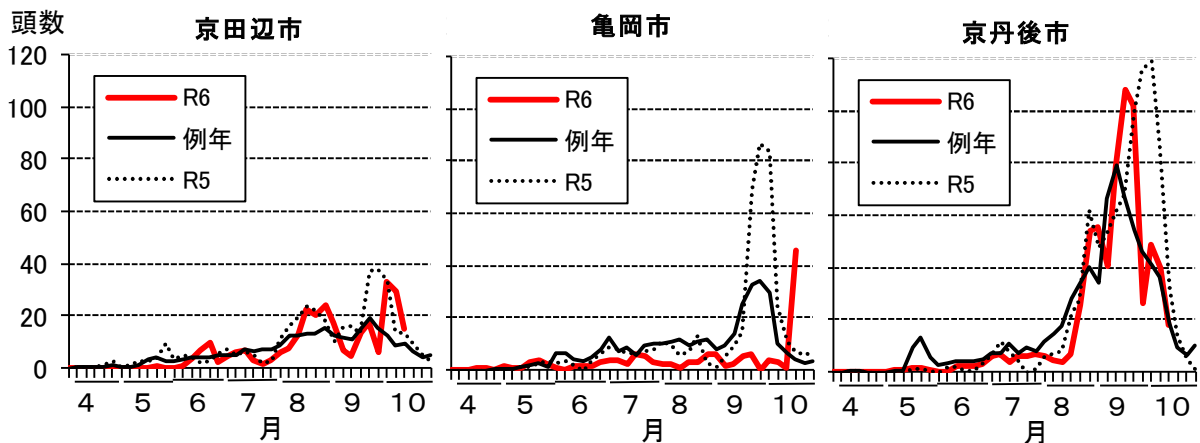
表 巡回調査結果(10月中旬)

	本年	例年
幼虫数(頭/株)	0.10	0.03
寄生株率(%)	5.6	2.2
発生ほ場率(%)	40.0	31.6
被害発生ほ場率(%)	100.0	51.1

※葉長40cm以上の大株での調査結果

#### (2) フェロモントラップの誘殺状況

フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比多く、亀岡市で例年並、京丹後市では例年比やや多くなっています(図)。



注) 京田辺市及び京丹後市は10月第3半旬までのデータ。亀岡市は10月第4半旬までのデータ。

図 フェロモントラップへのシロイチモジヨトウの誘殺状況

### 2. 気象予報

大阪管区気象台10月17日発表の近畿地方1か月予報によると、気温は高いと予想されており、本種の増殖しやすい状態が続くと考えられます。

### 3. 防除上の留意事項

- (1) 齢が進んだ幼虫では農薬の効果が著しく低下するので、**若齢幼虫期の防除が重要**です。
- (2) 被害葉及び収穫残さが本種の発生源となるので、一箇所にとどめて積み上げ、虫の拡散を防ぐため、表面をビニルで被覆する等、適切に処分してください。
- (3) 寄主範囲が広く、**ネギ等の野菜類、豆類及び花き類を加害する**ので注意してください。
- (4) 【参考】ネギでの技術資料「シロイチモジヨトウに対する薬剤殺虫効果（2022年）」  
<https://www.pref.kyoto.jp/byogai/documents/shiroichimoziyotou2022.pdf>



注意：農薬の使用に当たっては、ラベルおよび最新の使用方法や注意事項を確認してください。また、各薬剤の使用回数を守るとともに、同一成分を含む農薬の総使用回数についても注意してください。



写真 ネギでのシロイチモジヨトウの卵塊（左）幼虫（中）、被害株（右）